

## 安楽おおくす協議会と志布志市がパートナーシップ協定を締結

6月7日、市との「協働によるまちづくりパートナーシップ協定」を志布志市役所で締結しました。今後、安楽おおくす協議会は市と対等なパートナーとして、お互いに協力し合い、協働によるまちづくりを進めていきます。なお、この日は、香月校区しおかぜ協議会、田之浦校区コミュニティ協議会と併せて3団体が協定を結びました。



本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各自1通を保有する。  
令和6年6月7日

甲 志布志市志布志町志布志二丁目1番1号  
志布志市  
市長 下平晴行

乙 志布志市志布志町安楽1750番地4  
安楽おおくす協議会  
会長 川野賢二



## 1月に七草祝い、2月に山宮・安楽神社の春祭りを開催



1月7日、15名の子どもたちが参加し、恒例の七草祝いを行いました。この日は山宮神社拝殿でお祓いを受けた後に大楠前で記念撮影、公民館では安楽小学校長、あんらく保育園長の来賓と保護者が見守る中、子どもたちの心身健やかな成長をお祈りしました。

2月10日、11日の両日、安楽山宮神社と安楽(やすら)神社で豊作・豊漁を祈願する春祭りがありました。安楽神社では、コロナ禍で4年ぶりとなるあばれ牛を操る「牛使い」、豊作・豊漁を占う「カギヒキ」などが披露されました。正月踊りでは、子どもたちを含む保存会メンバー30人が黒装束に目出し頭巾の独特な衣装で三味線や太鼓に合わせて舞いました。また、集落に出向く庭周りでの踊り披露に、地域住民も感激していました。



## 第1回グラウンドゴルフ大会結果発表

5月19日、協議会主催の第1回グラウンドゴルフ大会を運動公園ふれあい広場で開催しました。小学生から90歳の最高齢者まで、32チーム・160名が参加し、世代を越えた和気あいの大会となりました。



- ◆団体の部
- 優勝：上宮内自治会
- 準優勝：大迫自治会A
- 第3位：上門自治会A
- 第4位：安良自治会2組
- 第5位：下宮内自治会B
- ◆個人の部
- 優勝：中吉秀親
- 準優勝：井手秋広
- 第3位：福永良光
- 第4位：西フミ子
- 第5位：木迫治行
- 第6位：砂田せつ子
- 第7位：吉松正久
- 第8位：又木尚子
- 第9位：神戸フミカ
- 第10位：上野真由美
- ◆最高齢者賞
- 男性：井手寛愛 90歳
- 女性：西フミ子 87歳

# 安楽おおくす協議会だより 創刊号 令和6年6月

語り継ごう、引き継ごう安全・安心でみんなが楽しい安楽地域

## 会長あいさつ

皆様方には日頃から安楽校区における地域活動にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和6年4月6日に安楽おおくす協議会の設立総会が開催され、新たな組織が立ち上がりました。この新しい組織は、公民館を中心にもう一回り大きな枠組みで組織を立ち上げ、地域内における課題解決を図り、自主的・主体的な地域活動を行おうとするものでございます。

安楽地区がこれからも住みやすいまち、住み続けたいくなるまちであり続けられるよう、微力ではありますが精一杯努めて参りますので、引き続き活動へのご理解とご支援をお願い申し上げます。



会長 川野 賢二

## 安楽おおくす協議会設立総会を開催

令和6年4月6日、市長、議長の来賓出席のもと設立総会が開催され、安楽おおくす協議会が設立されました。

安楽おおくす協議会がめざす将来像

将来像(全体目標)  
「語り継ごう、引き継ごう安全・安心でみんなが楽しい安楽地域」

防災・体育部  
「地域の防災、防犯、交通安全に力を入れ、安全・安心な地域をつくる。」「スポーツを通じて自らの健康維持と地域住民の親睦と融和を図るとともに、明るく豊かな地域づくり。」

健康福祉部  
「地域の中で世代間交流をめざす。」「自治会の引継ぎの場面で、単年度で終わらせない。」

青少年・文化部  
「青少年の育成、伝統文化の保存」

ふるさとふれあい部  
「子どもから大人までみんなが楽しい自然豊かな安楽のつながりづくり」



## 安楽おおくす協議会の設立趣旨

私たちの安楽地区は、志布志市の南部に位置し、豊かな自然と山宮神社・安楽神社で行われる県無形民俗文化財指定の春祭りなど多くの文化遺産にも恵まれた地域です。本協議会の名称になった山宮神社の大クスは、推定樹齢約1,300年の巨木であり、「志布志の大クス」の名称で国の天然記念物に指定されています。

これまで、安楽校区公民館が中心となって、ふるさとづくり、福祉活動、青少年育成活動、防犯防災活動など地域活動やボランティア活動などが活発に行われてきました。

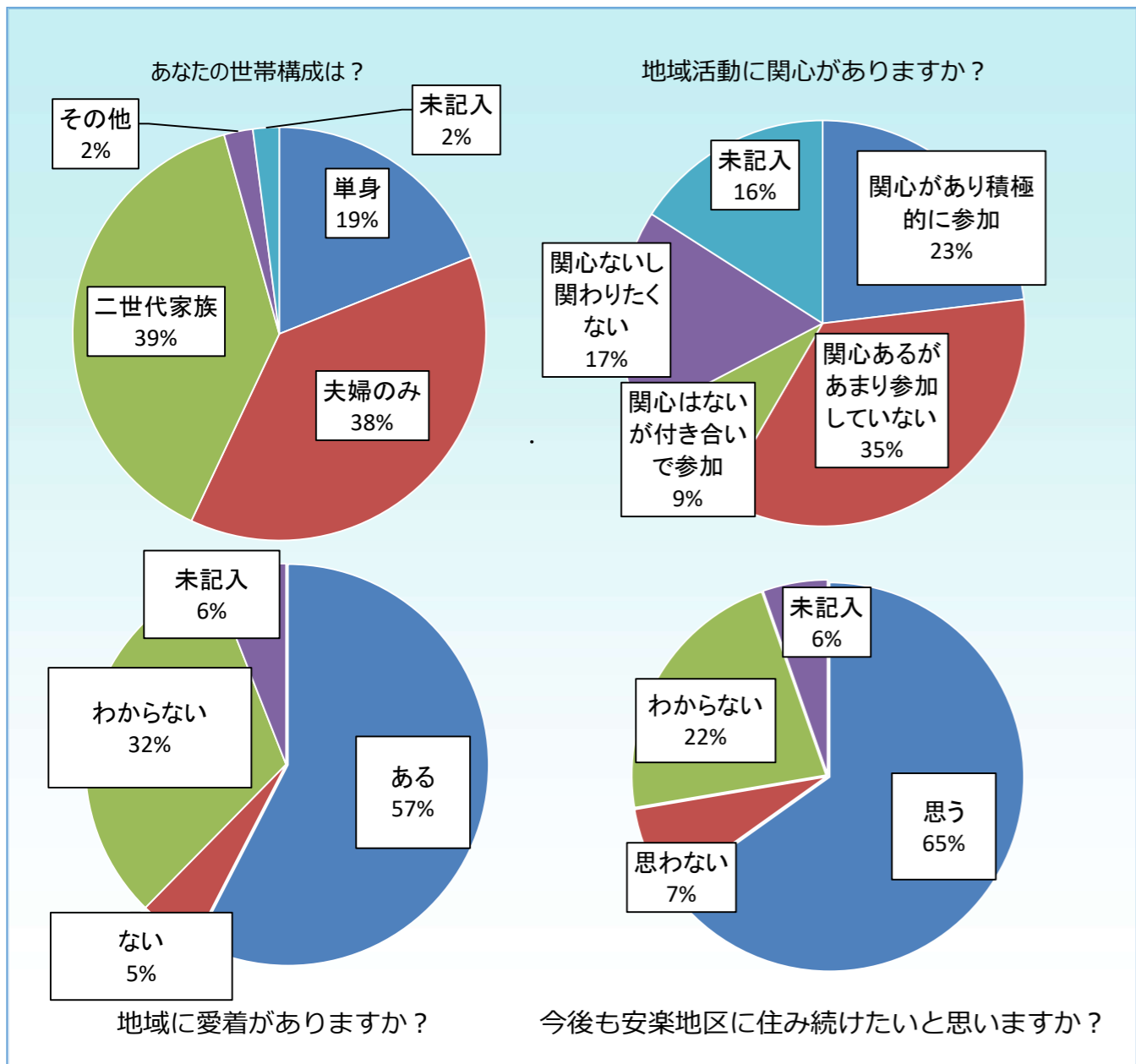
しかし、少子高齢化や人口減少、自治会構成員の減少などにより地域活動が困難になってきています。一方では環境整備や地域防災・防犯活動、地域振興計画などの課題に取り組んでいかなければなりません。

そこで、校区公民館をはじめ、ふるさとづくり委員会、各自治会などがこれまで取り組んできた活動を継承・発展させるため、ここに『安楽おおくす協議会』を設立します。

# アンケート調査結果公表

令和5年8月から9月にかけて安楽校区の全世帯を対象にアンケート調査を行い、502件（回答率18.5%）の回答が寄せられました。

アンケート調査のご協力ありがとうございました。



**伝統文化を継承するために必要なことは？**

- ・学校、自宅、六月灯でみんなの作品を飾る
- ・子ども、若者たちと一緒に取り組む
- ・性別や年齢で役割を固定せず、能力や個性に応じて役割を見直す
- ・次世代にPRし、若い世代が無理なく楽しめる工夫が必要
- ・地区外からも参加したくなるような情報発信が重要

**あなたは地域に満足していますか？満足度の高い順に**

- ・地域や集落の付き合い
- ・祭りなどの祭礼、イベント
- ・防火や救命などの消火活動
- ・神楽などの地域の伝統文化・芸能の継承
- ・植栽や側溝の清掃など地域内の環境美化・保全
- ・公園や集会所の維持管理
- ・広報紙や回覧などの情報共有

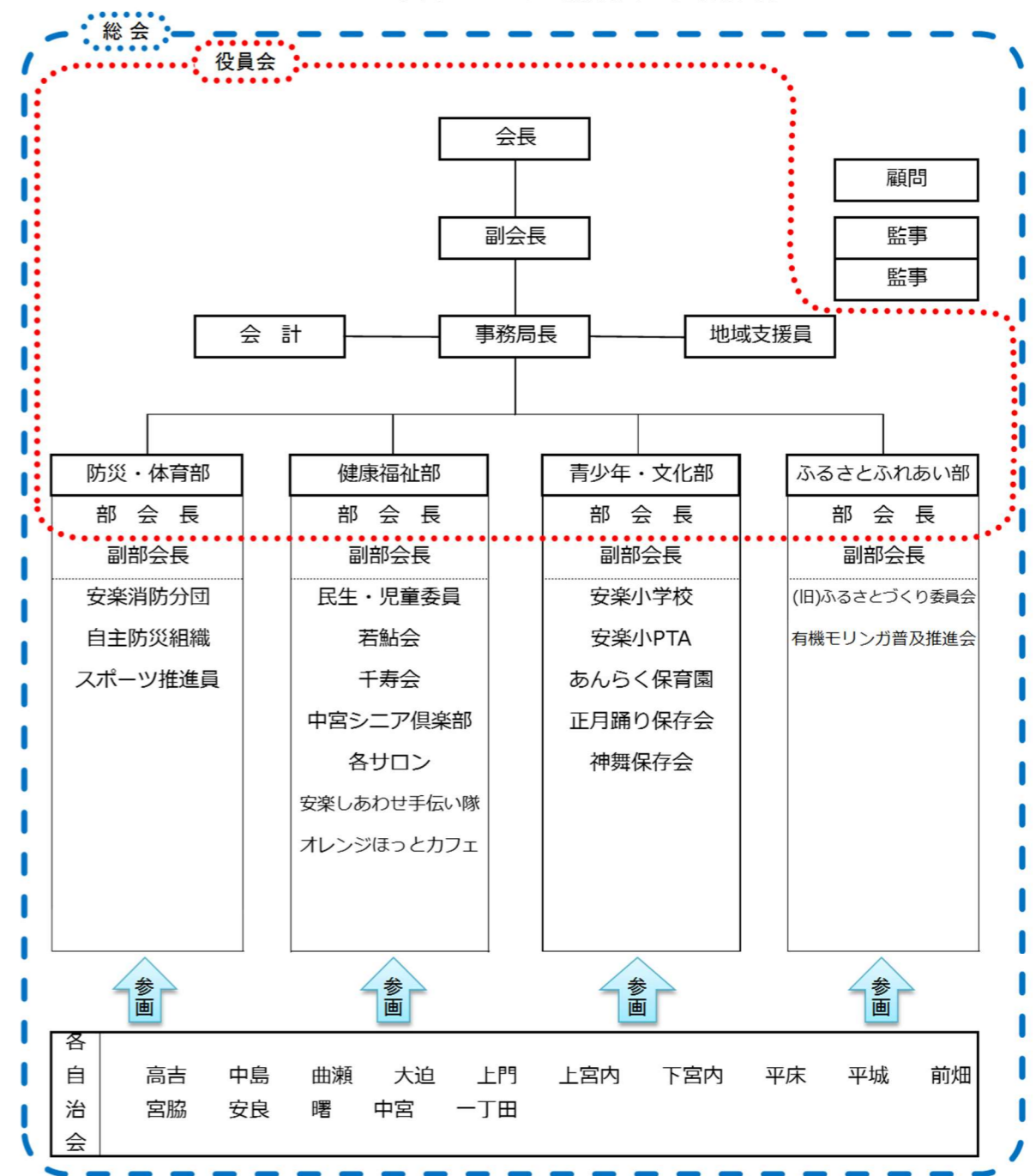
**あなたの困りごとは**

一番多かった回答は、「不安なことや困っていることではない」でした。以下、順に

- ・病院や診療科が少ない
- ・農地、山林の維持管理
- ・自分の健康面が不安
- ・草取り、電化製品の修理などの軽作業
- ・道路などの環境整備が不十分
- ・食事づくり、洗濯、ゴミ出しなど
- ・仕事、雇用に関すること

# 設立総会において、組織体制を決定し、役員等を選出しました。

安楽おおくす協議会 組織体制



**役員名簿**

会長	川野 賢二	防災・体育部長	須田 敏明
副会長	大山 正英	〃 副部長	西 紀夫
事務局長	玉垣 大二郎	健康福祉部長	山本 一貴
会計	中窪 徹	〃 副部長	松崎 ひとみ
監事	恒吉 修二	青少年・文化部長	大廻 和矢
監事	新村 千秋	〃 副部長	櫛山 ひとみ
顧問	木幡 一夫	ふるさとふれあい部	西小野 学
		〃 副部長	新崎 昭彦